

SDGs^{しんぶん}新聞

みつびしじしょ かぶしきがいは
三菱地所レジデンス株式会社

家族で決める「もしも」の作戦

☒ SDGsラジオを^よ読んでみよう！

「おはしも」を全部言えますか? 「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」。これは、地震や津波などが起きたときの合言葉で、避難訓練で教わりましたよね。災害が起きたときにどう動けばいいか? きちんと覚えておくことは、とても大事です。

マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」では、安心して毎日を過ごせるように、「そなえるドリル」という冊子をつくり、災害にそなえることの大切さを伝えています。そこで、みなさんに質問です。災害が起きたとき、おうちの人との集合場所は決めていますか? 大きな災害が起きると、家族がはなればなれになったり、電話やインターネットが使えなくなって、家族がどこにいるかわからなくなることがあるかもしれません。だからこそ、集合場所を決めておくことは大切。

「そなえるドリル」はインターネットでも見ることができます。おうちの人といっしょに見て、話し合っておきましょう。

☒ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：「そなえるドリル」 みつびしじしよ ホームページ (三菱地所レジデンスHPより)

「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」まため
ると「おはしも」。これは、地震などの災害が起きたときに、
あわてず、正しく動くための「合言葉」です。みなさんも、
避難訓練のときに先生から教わったと思います。災害の
ときに、どのように動けばいいかをきちんと覚えて、しっ
かりと準備しておくことが「防災」として、とても大切な
ことです。そこで、マンションなどの住まいをつくる会社
「みづびしじし所レジデンス」では、災害にそなえるための取り組
みのひとつとして、「そなえるドリル」という冊子をつくりま
した。その中では、「災害のときの困ったこと」を伝えなが
ら、必要なそなえを紹介しています。

「そなえるドリル」を使って、家族と話し合いながら問題を最後まで解くと、いざというときのための、家族だけの「防災計画書」が完成します。ではその中から、みなさんに問題です。災害が起きました。おうちのひとと集まる場所は決めていますか？ 災害が起きたときには、家族がはなればなれになってしまうことがあります。また、携帯電話やメール、SNSなどが使えず、家族の人と連絡が取れなくなってしまうかもしれません。そのため、家族との集合場所をあらかじめ決めておくことはとても大切です。平日は学校やお仕事があったり、休日はおでかけをしたりと、曜日や時間によって、自分や家族がいる場所もちがいます。「平日昼・平日夜・休日昼・休日夜」とパターンをわけて、それぞれの場合の行動をじっくりと考えながら、集合場所を決めましょう。「そなえるドリル」はインターネットからでも見られるので、おうちのひととしっかりと話し合いながら、準備を進めていってください。

☒ キーワード

さいがい
災害

地震や台風、津波などで人がけがをしたり、建物や道がこわれてしまうなどの被害が出ることです。
ふだんの生活ができなくなることがあります。

ひなんくんれん
避難訓練

さいがい お あんぜん ばしょ ひなん れんしゅう しょうがっこう ちゅうがっこう こうこう ねん すうかいおこな
災害が起きたときに、安全な場所に避難するための練習です。小学校や中学校、高校では年に数回行っています。

ぼうさい
防災

さいがい じぶん かぞく まも じゅんび
災害などのもしものときに自分や家族を守るように、準備をしておくことです。

☒ たいしょう 対象ゴール



みなさんにできること！

さいがい お かぞく しゅうごうばしよ き
災害が起きたときのために、家族みんなで集合場所を決めておきましょう。

- さいがい お かぞく 災害が起きたときには、家族がはなればなれになってしまうことがある。
- おさらい もしもにそなえて、家族との集合場所を決めておくことが大切。
- みつじしよ かぞく かんが 三菱地所レジデンスがつくった「そなえるドリル」で、家族のそなえが考えられる。

メモ



SDGs ラジオ